

一般質問



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

子育て支援(仕事と子育てを両立できる環境の整備)

問 子育て世代包括支援センターへソーシャルワーカーの配置を要望していたが状況は。

答 令和 4 年度から児童家庭

相談室に配置し、子ども家庭総合支援拠点として、複雑で多様化する相談に対応する。

問 学童保育所・クラブの待機児童解消や預かり時間の延長にはどう対応するのか。

答 学童保育所・クラブの開所時間の延長については、令和 4 年度中に道筋を立てたい。また、待機児童ゼロについては市長任期中に実現したい。

不登校支援

問 本市の不登校支援に関す

る今後の取組は。

答 令和 4 年度は不登校の要因を明確にするための ICT を活用したアンケート調査を行う。また、未然防止の取組や学校体制の充実のため、専任のスクールソーシャルワーカーを配置する。

問 不登校や病気療養中の児童生徒に対する教育支援の取組は。

答 現在は児童生徒の状況に応じて個別対応を行っている。

再発言 コロナ禍を機にオンライン活用の検討を。



民主・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

民生委員の活動費の増額を

問 民生委員は、非常勤特別職の地方公務員という身分である一方、給与は支払われず活動費のみで活動している。

福岡市のように活動費の見直し及び増額を検討しては。

答 今後も、民生委員の活動状況や近隣市町村の動向等を注視していきたい。

再発言 民生委員の存在は地域福祉の要であり、時代に見合った改善を。

漫画ミュージアム(館)設立によるまちづくり

問 本市は多くのプロ漫画家を輩出している全国的にもまれなまちである。漫画ミュージアム(館)の設立を通じ、

「ドカベン」で有名な水島新司氏の出身地である新潟市のように、地域文化資源を活かしたまちづくりを目指してはどうか。また、延命中校舎跡地を活用すれば、動物園、絵本、漫画館が集積され、この地域における相乗効果は絶大だと思うが。

答 市が新たな施設を造るには様々な課題があるが、民間において設立の動きがあればできる限り支援し、また、今後も漫画を活かしたまちづくりを進めていきたい。



公明党議員団
大野 哲也 議員

高齢者施策の推進を強力に進めよ

問 介護サービス事業者協議会と本市との協働の歴史に対する市長の見解は。

答 今後も、協議会をはじめ

関係機関や地域と協働しながら、これまで積み上げてきた取組をさらに進め、地域社会において誰もが人として尊重され、安心して暮らせるまちづくりを推進していきたい。

問 本市の認知症施策に対する担当副市長の認識は。

答 本市の認知症に関する先進的な取組は、今後も継続して実施しながら充実させていく必要があると考えている。

問 副市長には認知症施策に携わる人の声を聞いてほしいと思うが、副市長の考えは。

答 1 人 1 人の思いや願いに耳を傾けたいと考えている。

問 認知症の人とともに暮らすまちづくり宣言を市長はどう受け止めているか。

答 認知症の人とその家族を地域全体で支え、市民が認知症を超えて安心して豊かに暮らし続けることができるまちづくりを進める必要性は全く変わっていないと認識している。宣言に込められた思いを受け継ぎ、今後も認知症の人と暮らすまちづくりをしっかりと推進していきたい。